



COLLEGE OF
GLOBAL COMMUNICATION

NEW CURRICULUM BEGINS IN APRIL 2023!

GCで学べば、 語学の活かし方が見えてく

語学をベースに世界中の人たちとコミュニケーションを図りながら、

どんなフィールドでも活躍できる人材を育てたい。

そんな想いを込めてカリキュラム編成されたグローバル・コミュニケーション学群。

ただ語学を極めるだけでなく、3つの専修から将来の方向性を明確にし、

語学を社会にどう活かしていくかを理論と実践から学び取っていく。

キミはここで、言語力とグローバル社会に通じる力をとことん鍛えることで、

語学の活かし方も、自分らしい未来も見えてくる。

社会に直結した3専修の学びで、グローバル社会に生きる力を。



る。

▶ 学びの特長

徹底した語学力強化プログラムで使えるようになる



英・中・日の言語トラックから一つ選び、徹底的に学びます。2年次には、二つ目の外国語を集中的に学ぶトリリンガルトラックも選べます。

言語トラックと専修、2つの軸で将来のキャリアが描ける



外国語の力を伸ばしつつ、それを使って何をするか考えます。3つの専修から一つを選び、グローバル社会で役立つ知識・スキルを身につけます。

大学でも留学先でも国際交流、異文化体験ができる



学群内では、多様な言語・文化背景の学生同士で共に学ぶ機会が豊富にあります。また、原則全員がする1学期間の留学で力強く成長して帰国します。

育成する学生像

1

複数の言語を用いた高度なコミュニケーション能力およびグローバル社会で役立つ専門知識を生かし、多文化共生の実現に貢献できる人物

2

加速するグローバル化にともなって複雑化するコミュニティ内の問題を解決するために、異文化間の架け橋となり、他者と協働しながら自己の役割を着実に果たせる人物

アドミッションポリシー、ディプロマポリシー、カリキュラムポリシーはこちらをご覧ください。



▶ 4年間の学び

入学から卒業までの基本的な流れ

1年次

出願時に選択した言語を集中的に学ぶ。

2年次

語学力を伸ばしながら、専修の科目も履修開始。GC留学参加。

出願時に選択した言語を集中的に学ぶ

3つの専修から1つ選択し、語学力を基盤に、卒業後のキャリア

■英語トラック

■中国語トラック

■日本語トラック

※トリリンガルトラック 2年次以降選択可 語学技能科目(2言語)を習得

●パブリック・リレーションズ専修

基礎教育科目例(共通)

必修

- キリスト教学入門
- データサイエンスA/B
- 論理とコミュニケーション
- 自然科学入門

選択必修

- キャリアデザイン/フィールド・スタディーズ



基礎教育科目例

- グローバル社会入門(対人関係)(時事)
- グローバル文化入門(文化交流)(宗教と芸術)

グローバル・スタディーズ科目例

- 組織論(人材育成)
- パブリック・リレーションズ入門
- 社会調査(理論)
- 対人・組織コミュニケーション

●言語探究専修

基礎教育科目例

- グローバル社会入門(第二言語習得)(History of English)
- グローバル文化入門(映像芸術)(Literature & Society)

グローバル・スタディーズ科目例

- 言語研究(入門)
- 多文化共生と言語
- 英語学(概論)
- 中国社会(概論)

●文化共創専修

基礎教育科目例

- グローバル社会入門(中国学)(Religion & Society)
- グローバル文化入門(日本の伝統芸術)(文化交流)

グローバル・スタディーズ科目例

- 社会参加(SDGs論)
- 国際関係(East Asia)
- 人種と民族
- 比較文化(日中比較)

留学

1学期間(約15週間)原則全員が海外に留学します。外国語運用能力を高めるとともに、グローバルな経験を通して幅広い視野を獲得します。

※日本語トラック、トリリンガルトラックの留学は任意。

基礎教育科目

専門を問わず、大学での学びの基盤となる知識やスキル、グローバル市民となるために必須の教養を身につけます。例えばレポートの書き方、データや数字の扱い方を学び、文化としてのキリスト教、地球の歴史、人間社会の出来事や、文学、美術などの芸術について学びます。

語学技能科目



目標言語を1年次から徹底的に学び、4技能(聞く、話す、読む、書く)の強化を通して、批判的思考力や異文化理解を深め、コミュニケーション力のみならず、学修言語での専門科目の学修にも十分対応できる能力を身につけます。

グローバル・スタディーズ科目

科目履修の流れ

科目群の紹介



主たる学習言語を学ぶ言語トラック(英中日)に、2年次から複数の外国語を学ぶトリリンガルトラックを追加しました。また、学びの輪郭を明確にし、専門領域をより深く学び、自らの選択した言語を実際に活用して社会で活躍する将来像が描けるよう、自らの学びとそれに関わる資格などの取得やキャリアにつながる3つの専修を用意しています。

3年次

学修言語で専修の科目を学ぶ。
語学も続けつつゼミも履修。

4年次

より実践的な専修の科目を履修。
卒論にチャレンジも。

アにつながる専門性を高める

グローバル・スタディーズ科目例

- デジタルコミュニケーション
- パブリックスピーキング
- 現代のビジネス(日本の企業)
- プロフェッショナルライティング

グローバル・スタディーズ科目例

- パブリック・リレーションズ実践(企画とマネージメント)



グローバル・スタディーズ科目例

- 翻訳技法(日中A)
- 言語研究(語彙習得)
- 異文化間コミュニケーション(日中比較)
- 英語圏文化研究(Culture Thru. Literature)

グローバル・スタディーズ科目例

- 通訳技法(日英II)
- 通訳技法(日中同時)



グローバル・スタディーズ科目例

- ジェンダー研究(Gender Representation)
- 芸術文化(Japanese Cinema)
- 国際関係(米中関係)
- 日本文化(近代)

グローバル・スタディーズ科目例

- 英語圏文化研究(Imperialism)
- 日本社会(Issues and Debates)

専攻演習

グローバル・スタディーズ科目や教室内外での学びで得た関心を広げ、研究テーマを深めるゼミです。希望者が担当教員の指導の下、文献を読み、ディスカッション、フィールドワーク等を行います。「専攻演習I」、「専攻演習II」と進みます。

卒業論文/卒業研究

「専攻演習I・II」をさらに発展させた研究テーマで卒業論文の執筆、またはプロジェクトを実施したい人が選べます。知的好奇心や問題意識から出発し、深く掘り下げ、行動し、4年間の学びの集大成としてまとめ上げると、大きな自信につながります。

語学選択科目例

- 英語演習III(Workplace English)
- 英語演習IV(Public Speaking)
- 上級中国語演習(読む・書く)
- 上級中国語演習(中国映画)
- 上級日本語演習(現代大衆文化)
- 上級日本語演習(文章表現)



外国人留学生、多様な背景の学生たちと共に日本および世界の政治・経済・文化を学び、グローバルな視野で物事を考える力を身につけます。(具体的な科目群は3つの専修の科目例を参照)



〔3専修の学び〕



パブリック・リレーションズ専修

組織を代表できるコミュニケーション
スペシャリストを養成するコース

【資格】社会調査士(指定科目の履修による申請で認定)、PRプランナー★
【めざす将来像】企業・自治体・NGO/NPOの宣伝・広報・渉外担当



言語探究専修

深く言語を極め、言語エキスパートを
目指すコース(語学力に焦点)

【資格】通訳案内士*、日本語教育能力検定試験*
【めざす将来像】通訳・翻訳など言語に関わる専門職



文化共創専修

多文化理解、国際関係、地域研究など、
グローバルの部分に焦点

【資格】文化交流創生コーディネーター*
【めざす将来像】企業・自治体の多文化共生・国際協力事業担当者

★★のついている資格は、学群内の学修で取得するのではなく、学群として取得をサポートするもの



パブリック・ リレーションズ専修



戦略的コミュニケーションプロセスであるパブリック・リレーションズ(PR)の理論に基づいた、実践的スキルの育成をめざす専修です。対人や組織のコミュニケーション、グローバルな環境における日本および外国とのビジネス、情報発信の軸となるメディアリテラシーを学び、企業や自治体などのパブリック・リレーションズを担う人材になります。

PICK UP! 授業

PICK UP
1

パブリック・ リレーションズ実践

さまざまな組織体によるパブリック・リレーションズ(PR)の事例をブランドのプロモーション、危機管理広報などの種類別に検討し、特定の広報戦略の立案を試みます。



PICK UP
2

パブリックスピーキング



組織内における会議での報告から、組織を代表して顧客・消費者・地域住民などに対して行う説明にいたるまで、公の場での目的に応じて説得的に話すスキルを身につけます。

PICK UP
3

プロフェッショナルライティング



パブリック・リレーションズ(PR)の場面で求められるライティングの特徴を体系的に学ぶだけでなく、実際の場面で必要とされる知識・スキルを演習形式で実践的に学びます。

学生紹介



学群での学びを活かし、日本と世界の架け橋に。

高校の語学研修をきっかけに、英語を身につけて視野を広げたいと思うようになりました。そのため一年生から英語漬けの毎日を送ることができ、国際的に活躍するのに必要なさまざまな物事を学べることなどから、この学群を選びました。現在は、語学はもちろん、日本と海外の文化や歴史、国際開発などを学習しています。その中でも日本と海外の教育について比較し、その重要性を確かめられた「比較教育論」が印象に残っています。将来は、この学群で得た視野や知識を活かして海外で働き、日本との架け橋になりたいと思っています。その目標に向けて、資格勉強やオンラインでの英会話に励んでいます。

雁部 里美 旧 英語特別専修 2022年3月卒業 東京都 昭和第一学園高等学校出身

言語探究専修



コミュニケーションの軸となる「言語」自体をより深く、集中的に学び、探究をしていくことによって、高度な言語運用力を有する言語のエキスパートの育成をめざす専修です。さまざまな国の言語や社会の理解をはじめ、言語を学問として学ぶ言語学、専門家としての翻訳や通訳の技法を学び、語学力に裏打ちされた高度なコミュニケーション力を用いた課題解決に取り組める者を育成します。

PICK UP! 授業

PICK UP
1

言語と社会

現在のグローバル社会における諸課題を事例とし、解決に向けた考察を行い、グローバル化した社会で重要性を増す「多文化共生」などのテーマを、言語を切り口に深く掘り下げます。



PICK UP
2

言語研究



第一・第二言語の習得、方言、翻訳、言語とジェンダー、語用論、言語の思考への影響の仕方、言語と心理の関係など、言語に関する幅広いトピックを対象とします。

PICK UP
3

通訳技法



逐次通訳と同時通訳の形式・方法の違いを理解し、状況に応じて使い分けられることを学び、通訳訓練法を体験的に習得することで、今後の資格取得や将来的なキャリアへの準備を行います。

学生紹介



世界で活躍するための、教養と視点を身につける。

入学前から独学していた中国語を究めると共に、中国の文化を学びたいと思い、中国語特別専修を選びました。現在は中国語の基礎に加え、ネイティブの先生方が中国語で実施している授業などを通じて、日中文化の歴史や異文化理解について学んでいます。この専修の魅力の一つは、先生が学生ごとに手厚く指導してくれる少人数クラスです。語学力はもちろん、世界で活躍するための教養を身につけることができます。将来は学んだことを活かし、人々の役に立つことを世界に発信したいと思っています。そのために知識の吸収に努め、グローバルな視点を大切にしていきたいです。

高倉 貴美 旧 中国語特別専修 3年 埼玉県 高等学校卒業程度認定試験

文化共創専修



グローバル化した社会の中で、多文化が共存するコミュニティは日常となっており、それぞれの文化や慣習への理解や寛容性を踏まえた上で、言語の壁を越えた高いコミュニケーション能力と専門知識が求められます。自らが多文化共生社会を支える担い手となるために、自文化および各国の文化的な諸要素の学習や研究を進めるとともに、ボランティア活動などを通じた社会参加による学びを展開していきます。

PICK UP! 授業

PICK UP
1

エスニシティ研究

エスニシティとは、言語や文化などの属性に従って分類された集団を表すものです。この科目ではその多彩なありようをディスカッションなどのさまざまな学習から理解を深めていきます。



PICK UP
2

社会参加



総論的な講義と具体的な実践例から、学生が社会的な環境において、自律的な活動を実践し、他者や社会への理解を深め、視野を広げる力をつけることを目標とします。

PICK UP
3

芸術文化



美術、映像、伝統芸能などさまざまなジャンルの芸術について学ぶとともに、芸術と文化、社会の関係性に注目し、社会でその力を発揮する芸術とはどのようなものかを学びます。

学生紹介



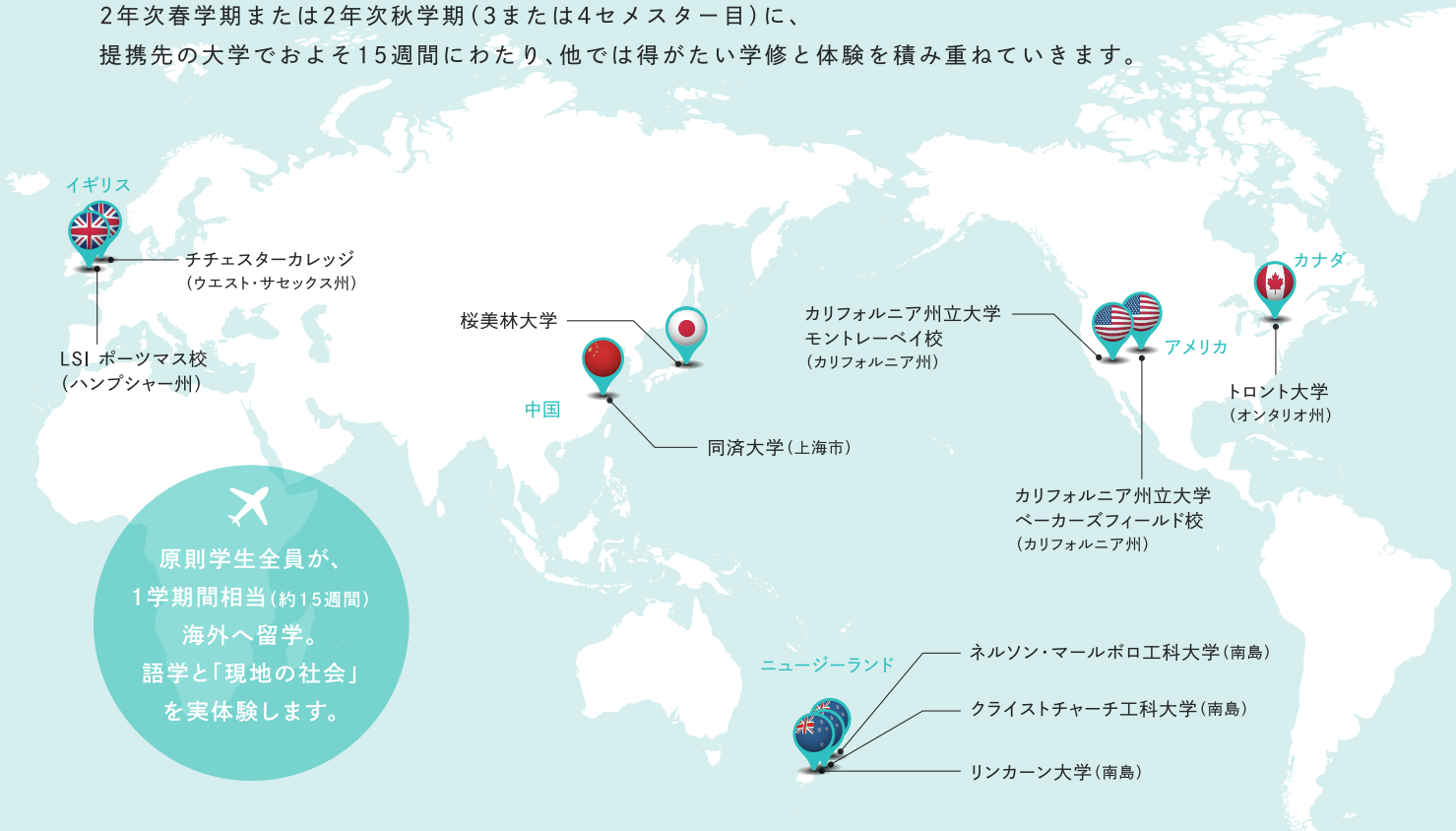
日本で活躍するために、世界の政治や文化を学ぶ。

この学群を選んだのは、英語力だけではなく、国際政治や経済、文化などについて幅広く学ぶことができ、さまざまな世界観を知ること、思考力を鍛えられるためです。現在は国際関係のゼミに所属し、歴史や軍事について学んだり、時事問題の分析、ディスカッションなどに取り組んでいます。特に李恩民先生の米中関係の授業では、2カ国間の重要な条約を分析することで、現在の時事問題に対して、自分なりに理解を深めることができました。将来は、私にとって外国である日本で活躍できる人材になることが目標です。そのために英語と共に、日本語や日本文化を学んでいきたいと考えています。

陳 屹鈞 旧 英語特別専修 4年 中国 上海市高橋中学出身

▶ 海外留学

グローバル・コミュニケーション学群では、教育プログラムの一つに「1学期間の留学」が組み込まれています。2年次春学期または2年次秋学期(3または4セメスター目)に、提携先の大学でおよそ15週間にわたり、他では得がたい学修と体験を積み重ねていきます。



✈️
原則学生全員が、
1学期間相当(約15週間)
海外へ留学。
語学と「現地の社会」
を実体験します。

留学費用

北米	110万円程度
イギリス	100万円程度
ニュージーランド	90万円程度
東南アジア	45万円程度
中国	45万円程度

2019年度実績です。ただし留学期間も、桜美林大学への通常の学納金の納入が必要です。



※この派遣先はコロナ禍前のもので、派遣先も費用も今後変更の可能性があります。

中国 学生の声 同济大学



現地ならではの体験で知見を広げ、行動力が向上。

私は、上海の同济大学に4か月間留学しました。実際に中国の歴史や文化に触れ、人々と過ごすことでネットやテレビの情報ではわからない、たくさんの魅力に出会えました。また、元々一人で行動することは苦手でしたが、留学を通じて行動力を身につけることができました。まだ将来の目標はありませんが、この経験は社会人になっても必ず役立つと思っています。

加藤 花那 旧 中国語特別専修 4年 神奈川県横浜市立みなと総合高等学校出身

ニュージーランド 学生の声 リンカーン大学



留学で自分と向き合った経験を今後の挑戦に活かしたい。

留学では、初日から自身の英語力の低さに絶望しました。しかし、気持ちを切り替えて恥ずかしながら話しかけることで、自信を持つことができました。その他にも、留学ではたくさんの試練がありましたが、自分と向き合い、乗り越えることで成長できたと感じています。社会でも壁に当たることが多くあると思いますが、留学での経験を思い返し、臆することなく挑戦していきたいです。

荒井 美羽 旧 英語特別専修 4年 茨城県立下館第一高等学校出身

▶ 学習環境

| Brown Bag Café

留学生がカフェ・マスターとして皆さんを迎えてくれるBrown Bag Café。このカフェの中では英語が共通言語です。コーヒーや紅茶を飲みながら、ボード・ゲームを楽しみながら、いろいろな国からやってきた留学生たちと語り合い、友情を深めましょう。国際交流イベントが開催されることもあります。



| 国際経験豊かな教授陣

グローバル・コミュニケーション学群の教授陣は、多彩な国際経験を持つ人々の集まりです。国や文化のはざま、複数の言語を扱いながら、留学・仕事・調査研究などの経験をみずから積み重ねてきた教員たちだからこそ、さまざまな文化・言語背景を持つ学生たちと向き合い、複眼的な視野を持って教育・研究活動にあたることのできるのです。(教員の出身国=7カ国、教授言語=日中英の3言語)

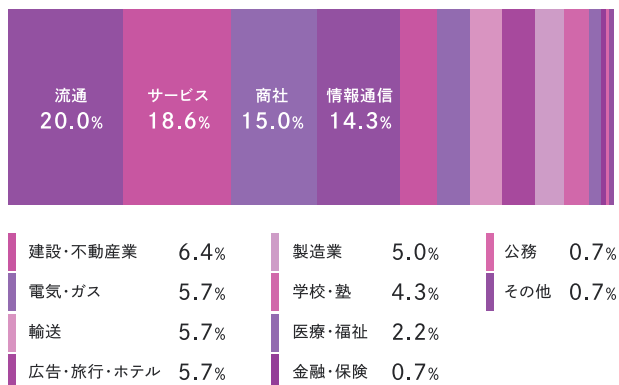
| 専門科目履修に必要な語学テストのスコア ※母語以外で開講される科目の場合

必修のグローバル・スタディーズ科目(2年次以降順次履修)の専門科目履修要件です。この要件を大学生生活の途中でクリアしないと卒業できないため、全員を右記語学スコアまで引き上げる教育をします。さらに、選択したトラックの言語で各専修の専門科目を学び、専門性を高めていきます。

英語トラック	TOEFL® ITP 520点、TOEIC® L&R 650点、IELTS 5.5以上
中国語トラック	HSK 5級以上 ※1~6級のうち、6級が最も難易度が高い。
日本語トラック	日本語能力試験 N2(110点)以上 ※N5~N1のうち、N1が最も難易度が高い。
トリリンガルトラック (3言語のうち、母語以外の2言語で以下を達成)	英語: TOEIC® L&R 600点、中国語: HSK4級、日本語: 日本語能力試験N2 ※トリリンガルトラックは、上記グローバル・スタディーズ科目の履修条件と異なります。

| 就職実績

業界別就職割合 (2020年度卒業生実績)



就職率 **94.6%** (2020年度)

参考: 2019年度就職率 98.3% ※就職率とは、就職希望者に占める就職者の割合

| 学納金

		1年次	2年次	3年次	4年次
春学期	入学金	100,000	—	—	—
	施設設備費	150,000	150,000	150,000	150,000
	春学期授業料	457,000	457,000	457,000	457,000
	教育充実費	25,000	25,000	25,000	25,000
	卒業諸費	—	—	—	50,000
	春学期納入金合計	732,000	632,000	632,000	682,000
秋学期	施設設備費	150,000	150,000	150,000	150,000
	秋学期授業料	457,000	457,000	457,000	457,000
	教育充実費	25,000	25,000	25,000	25,000
	秋学期納入金合計	632,000	632,000	632,000	632,000
年次別総計		1,364,000	1,264,000	1,264,000	1,314,000

※学納金は2022年4月1日現在の予定であり、変更となる場合があります。出願時「学生募集要項」で詳細を確認してください。

※2年次に実施する、1学期間の海外留学が「原則必須」です。留学にかかる費用は別途必要です。ただし、日本語トラックおよびトリリンガルトラックの留学は任意。

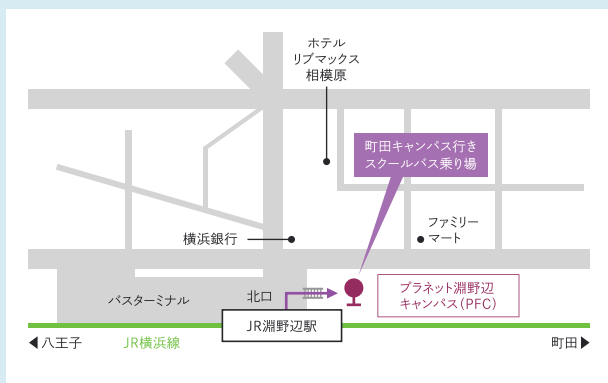
納入時期などを、さらにチェックしたい方はこちら



Access 町田キャンパス 〒194-0294 東京都町田市常盤町3758

■町田キャンパスへのスクールバス乗り場

淵野辺駅(JR横浜線)下車
スクールバスで約8分



多摩センター駅(京王線・小田急線・多摩モノレール線)下車
スクールバスで約20分

